

# 福知山市行政改革推進委員会(第5回) 議事概要



第6次福知山市行政改革大綱の策定に向けて、11月6日（金）に第5回福知山市行政改革推進委員会が開催され、奥田委員長から松山市長に答申が行われました。

審議概要は別添のとおりです。

## 第5回福知山市行政改革推進委員会 議事概要

日時:平成27年11月6日(金)

午後2時00分～午後3時00分

場所:市役所5階全議員協議会室

### ■出席者

#### 【委員(敬称略)】

奥田省三(委員長)、菊田学美(副委員長)、加藤好雄、佐金美弥子、友次秀正、松本博、三ツ池典文

#### 【市】

伊東副市長、嵯峨副市長

行政改革推進本部員(市長公室長、総務部長、危機管理監、地域振興部長、財務部長)ほか事務局

### ■議事

#### 議事(1) 前回審議内容の確認等

企画課長から「資料1 第4回 議事概要」について説明。

市のホームページでの公開を予定しているので、訂正が必要であれば11月13日(金)までに事務局まで連絡いただきたい。

#### 議事(2) 第6次行政改革大綱(案)に対する答申内容の確認について

奥田委員長から「資料2 第6次福知山市行政改革大綱(案)について(答申)」と、これまでの意見を反映した「第6次福知山市行政改革大綱(案) 平成27年11月」について説明。

#### 委員長

答申文について、何か御意見等があれば御発言を。

#### 委員

修正ということではないが、委員からの提言で「市民協働を進めることが結果として、市民への負担の押し付けとならないように推進すること」としているが、具体的な推進イメージはどのようなものとなるのか。

#### 市

この提言は、市民協働が市の業務の下請けという形になってしまわないようにという、委員からの意見を受けて、答申に盛り込まれたものである。

推進の具体的なイメージとしては、バスをはじめとした地域の公共交通について市民・民間も役割を担って維持していくといったものがある。

#### 委員

結局、市は市民協働を進めるが、民間とのタイアップができるものもあれば、できないものもあるということになるのか。

#### 市

公共サービスという範囲では、民間の参入可能なものもあり、市民協働の推進とはその分野においてできるだけ市民・民間の力を活用することで、市民の利便性等の確保を図るものである。ただし、提言にもあるように、市民・民間を下請け的な使い方をして負担を押し付ける形にはしないように進めていくことになる。

#### 委員

過疎化・高齢化等の影響により行政によるサービスが立ち行かなくなることも考えられる中、市

民協働の考え方により市民・民間が協力していくことは必要なことである。個別の例では異論もあると思うが、総論としては市民協働を推進するという方向性であっていると思われる。

**委員**

この提言は、市は大綱で市民協働を進めるとしていることに対して、委員会としては市民協働の名の下で市民に大きな負担をかけないで欲しいという要望を表しているものであるので、答申の文としてはこれで良いのでは。

**委員**

前段で、市民協働を進めることを述べ、ただし書きで市民への負担の押し付けとならないようにと述べる構成にしてはどうか。

**委員長**

このような提案が出ているが、他の委員の皆さまはどうか。

〈修正に同意する声〉

**委員長**

それでは、ただし書きの文章に答申を修正する。  
他に何かあるか。

**委員**

提言3の行政経営の改革の公共施設マネジメントに関する文章で、「強力」に推進することとあるが、市民にとっては押し付けられているイメージになるので、「着実」に推進するという文に変えたほうが良いのでは。

**委員長**

このような提案が出ているが、他の委員の皆さまはどうか。

〈修正に同意する声〉

**委員長**

それでは、「着実」に推進するという文章に答申を修正する。  
他に何かあるか。  
なければ、今の2箇所の修正を施したもので、第6次福知山市行政改革大綱（案）への答申を行うということで異議ないか。

〈異議なしの声〉

それでは、委員会の答申内容が確定したので市長に答申を行う。

### 議事（3）答申

奥田委員長から市長へ答申、答申書の朗読。

**市長**

「第6次福知山市行政改革大綱（案）」に対する答申をいただくことに対して、一言お礼を申し上げます。

諮問させていただいて依頼、5回にわたり審議の中で、委員の皆様には、大変貴重な御意見をいただいた。

第6次福知山市行政改革大綱（案）は、新たな本市の総合的な市政運営の計画である「未来創造福知山」及び地方創生に向けた本市の「まち・ひと・しごと・あんしん総合戦略」の政策実現に向けた実効性を行政運営面から担保し、子や孫に大きな負担を背負わさず、現在の福知山市を承継するために「次世代へつなぐ新たな改革」というテーマを掲げたところである。

答申と大綱（案）には、委員の皆様からの発展的な御意見や、その熱い思いが盛り込まれ、力強い後押しをいただいたと感じている。

また、本年度は、3年ぶりに平穏のうちに一年が終わるのではないかと願っている。昨年度、一昨年度と大きな災害が起こるなど、地球規模の気候変動が進む中、過去の経験からは想定できないような災害が発生する状況となっている。一方で、被災の経験を活かして、本年度は5人の職員を被災地に派遣してノウハウを伝え、復旧の手伝いをしているということもある。いつ何時発生するかわからない災害への備えをできるだけ進める必要があると思っている。

さらに、人口減少、少子・高齢化、公共施設の更新問題等、多くの課題に直面しており、これらの課題を解決するためには、不断の改革に取り組んでいかなければならないと、皆さまからの御意見をいただく中で、改めて強く思い至るところである。

本日いただいた答申を踏まえ、第6次行政改革大綱を策定し、さらに大綱に基づく実施計画により、健全な福知山市を次世代へつないでいくことを目的に、着実な改革の取り組みを実践して参りたいと思っている。

今後も本市の行政改革に対して、引き続いて御指導、御鞭撻をお願い申し上げ、行政改革推進委員会の皆様へのお礼とさせていただく。

#### 議事（4）その他

##### 委員長

前回、福知山市行政改革推進懇話会の設置について御了承をいただいたところであるが、その具体的な内容について事務局から説明させていただく。

企画課長から「資料3 福知山市行政改革推進懇話会について」について説明。

##### 委員長

この件について、御意見・御質問はないか。

（発言なし）

##### 委員長

それでは、今説明のあった行政改革推進懇話会を来年度から開催することとする。

以上をもって、行政改革推進委員会の議事を全て終了とする。

議事進行に御協力をいただき感謝申し上げます。